

長瀬会場質疑応答

令和 7 年 1 0 月 1 5 日（水） 1 9 時

住民

埼玉県の水と接続すると水道料金が安くなると聞いたことがある。これは技術的にできるのかどうか、もし可能になると料金は下がるのか。

また、料金の改定の金額と口径を見ると、口径が大きいのは基本的に企業や事業所だと思うが、口径が大きいと金額の増減額が大きいと思う。パーセンテージにすると非常に少ない。ただ金額が大きいので現在いる企業にとって料金改定がかなりランニングコストとして経済活動の中でハザードになるのではと思う。新規参入などは難しくなると思うが、この点についてはどう考えているか。

水道局

県水に関して、埼玉県企業局でも令和 7 年度当初に県がつくった水を各事業体に販売している用水の販売単価の改定をしている。その際に 1 m³あたり約 75 円、21%の値上げの改定をしている。それと比較して、当組合は浄水場で水を汲み上げて配る前の水をつくる単価は 1 m³あたりおよそ 100 円程度かかっている。県水と当組合では 20 円から 30 円の水をつくるコストの差があり、さらにこれに水を配る単価が乗ってくる。さいたま市と比較すると、水を配る単価については秩父広域の方が少し高いくらいで、1 m³あたり 130 円から 140 円くらいとなっているので、それと比較すると県水が秩父地域に流れてくることがあって、同じ単価で受水できれば安くなる可能性はある。ただ、技術的な問題があるので、どうしても秩父地域に関しては県内でも高めの設定にならざるを得ない。自分たちで水をつくって自分たちで配水しなくてはならないので、どうしても高めの設定になってしまうという地理的な条件が大きく作用してくると思う。

企業等の大口径を利用されている使用者に対しては、一般の使用者に比較すると今回の料金改定については、多量の使用者ほど改定率の影響を受けづらくなる。しかし平均改定率 36.1%については企業に対しても大きな影響が出てくる。当組合では、経営審議会に群市内の大口の事業者さんにも審議会委員になってもらっている。経営状況というのは会社ごとに異なるが、極力影響が少ないほうが良いかと思う。そのほか、1 市 4 町の中では、企業に対する水道料金の補助を設けている自治体もある。

- 以上 -